

2013

2

目次
CONTENTS

- 2 市の主な施策の進捗状況をお知らせします
- 4 那珂市事業仕分け
- 6 那珂市地域公共交通連携計画
- 8 議会 第4回定例会
- 11 那珂市成人式
- 12 スポーツ推進委員だより
- 14 那珂市消防出初式 ほか
- 15 賀詞交歓会 ほか
- 16 那珂市内放射線量の測定状況
- 18 まちの話題
- 20 Information
- 24 さわやかさん、表紙の裏側 ほか



飛躍への一步を踏み出す！(那珂市成人式)

市の主な施策の進捗状況をお知らせします

問い合わせ

秘書広聴課広報グループ
☎298・1111
(内線425)

市民サービス

●市役所の日曜開庁

平成23年9月から日曜日に市役所を開庁し、住民票や戸籍謄本・抄本、印鑑証明の交付などの市民課窓口業務を開始しました。

また、木曜日は1階窓口課、2階こども課において午後7時30分まで窓口延長業務を継続して行っています。



日曜開庁（市民課窓口）

●市民便利帳の発行

市の行政サービスや公共施設の案内など、市民生活に必要な情報をまとめた「那珂市くらしの便利帳」の作成・配布を官民協働発行事業者「サイネックス」の協力により、平成24年6月に発行しました。

●那珂市地域公共交通連携計画・デマンド交通システム

地域の実情に応じた移動手段を確保し、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するため、「那珂市地域公共交通会議」を設置し、「那珂市地域公共交通連携計画」の策定およびデマンド交通実証運行の協議を行いました。

デマンド交通システムについては、平成25年4月から2年間の実証運行を行い、市にとって「利便性の高い効果的な交通システムとは何か」を検証します。計画しているのは現在のひまわりバスの地区コースに替わるものであり、ひまわりバスルートの一部を継続して運行し、利用状況を把握し、その後の運行計画を検討していきます。



那珂市地域公共交通会議



平成23年2月に市長に就任し2年が経過しました。その間、住みよいまちづくりと市民サービスの向上を目指し、窓口の日曜開庁や、小児マル福制度の拡大などの施策を実現してまいりました。

また、東日本大震災を教訓に県外自治体や団体等と災害時応援協定を締結し、防災体制の強化・充実を図りました。こうした施策につきましては、広報紙やホームページで随時掲載していますが、今回は、市長公約の達成状況や主な施策の進捗状況について、市民の皆様にお知らせします。今後も市民サービス向上のため、各種施策の実現をしてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

那珂市長 海野 徹

新たなまちづくり

●車座会議（ふれあい座談会）

市民の皆様のご意見を市政運営に反映させるため、市長が直接市民の皆様のごところにお向き、市政についての意見や提案などをお聴きする『市長と話そうふれあい座談会』を



市長と話そうふれあい座談会

●経営戦略会議

平成23年9月から開始し、現在までに19回開催しました。座談会では、自治会や団体から出された地域課題についての意見の交換や市施策の取り組みに関する質疑応答を市長と行っています。

市の政策や運営に関して学識経験者や企業経営者から意見を聞き、効果的かつ効率的な政策を推進するため、5人の委員からなる那珂市経営戦略会議を設置しました。

平成24年2月に第1回会議を開催し、現在までに11回の会議を重ね、行政サービスの向上や市の活性化などについて委員の活発な意見交換を行っています。

●小児マル福制度の拡大・特定不妊治療費の助成

平成23年10月から、小児マル福の受給対象者を小学6年生まで拡大しました。

また、平成24年4月から、不妊治療に係る経済的負担を軽減するため、不妊治療に係る経費助成を開始しました。

●コンビニ収納サービス

市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料について、24時間365日いつでも納税が可能となるコンビニ収納を平成24年4月から開始し、収納サービスの向上を図りました。

●生活道路の優先整備

今までの道路整備基準を緩和し、生活者の視点に立ち、より利便性を高めた運用に改めました。

行財政改革・財源確保

●市長専用公用車の廃止

市長専用公用車を廃止し、不用となった公用車については、インターネットオークションを利用して売却を行い、市の財源としました。現在、市長公務については共用公用車を使用しています。

●事業仕分け

平成24年9月に中央公民館で、市民視点での評価を取り入れた市民判定人方式による事業仕分けを行いました。事業仕分けは公開で開催するとともに、インターネットによる生中継を実施しました。



事業仕分けの実施

●自主財源の確保

自主財源の確保を図るため、マツトレンタル業者と広告入りマットの設置契約を結び、平成23年8月から市民課カウンター前などに広告入りマットを設置しました。また、広告入り郵送用封筒等の無償提供の協定を広告代理業者と締結しました。広報なか、ホームページ、動画モニターなどの媒体と併せ、今後も収入の確保に努めていきます。

●市長報酬の減額

同規模自治体と比べて高かった市長報酬は、平成23年4月から10%減額しました。

●特定規模電気事業者(PPS)との契約

東京電力の電気料金値上げによる財政負担の増を軽減するため、業務用電力として東京電力から供給を受けている市内の施設の中で、安価な料金で供給可能な小・中学校や総合公園などを含む計23施設について、平成24年7月から特定規模電気事業者(PPS)に契約を切り替えました。

防災・災害対策

●災害時応援体制の強化

災害時の応援体制を強化するため、18の民間団体・32の自治体と災害時応援協定を締結し、物資や人員等の確保に努めています。



埼玉県桶川市との相互応援協定調印式

●防災井戸等の設置

非常時の飲料水確保のため、浄水場が停電時でも取水できるように設備を改善するとともに、中央公民

館・らぼーるに取水用の深井戸を設置しました。

また、震災時に井戸水の提供をしていただける家を「災害時協力井戸の家」として、市内に55件登録しました。



協力井戸に看板を設置

●緊急速報エリアメール

那珂市域における災害・避難情報を携帯電話のメールにより配信する、緊急速報「エリアメール」を平成23年11月から開始したNTTドコモに加え、平成24年5月からKDDI、ソフトバンクからも開始しました。

道の駅事業

道の駅調査検討委員会において、事業内容について検討し、平成23年第2回定例会に基本設計委託料等に係る予算案を上程しましたが、震災復興を最優先にすべきとの意見により否決され、道の駅建設については中止となりました。今後は、特産物PRと産業振興のための新たな施策を検討してまいります。

■那珂市事業仕分け

「判定結果を受けた市の方針を公表します」

市では、市民の皆様とともに、効果的で効率的な行財政改革を推進するために、市民判定人方式による「事業仕分け」を、昨年9月29日に中央公民館で実施しました。

公開で行われた事業仕分け当日は、市民判定人を引き受けていただいた25人のかたが参加されたほか、一般市民のかたも数多く熱心に傍聴されていました。



事業仕分け会場（1階会場）

●判定結果を受けて

事業仕分けの判定結果を受け、市長を本部長とする行政評価推進本部会議において、仕分けの議論および判定の内訳を十分踏まえて検討し、仕分けの対象となった事業の今後の方針を決定しました。

各事業の市の方針については、次ページの一覧表をご覧ください。



事業仕分け終了後の講評
(仕分け人：前滋賀県高島市長 海東英和氏)

●事業仕分けの手順

事業仕分け当日は、仕分け人と市担当職員が1事業ごとに30分程度の議論の後、対象とした事業が「そもそも」必要かどうか、必要ならばどこが実施するか（官か民か、国か地方か）について、市民の皆様から無作為に1000人を抽出したかたのなかから「市民判定人」として1班あたり14人程度ご出席いただき、仕分け対象となった16事業についてそれぞれ判定していただきました。

判定結果については、それぞれ内訳を示し、当日会場にて公表しました。

また、当日の仕分け会場のようすを記録した映像を、どなたでもご覧いただくことができますよう、インターネット動画共有サービス「YouTube」に登録しました。

※「那珂市事業仕分け 動画」で検索してください

問い合わせ

行財政改革推進室

☎298・1111

(内線572・573)

■平成24年度行政評価について

市では、事業仕分け以外にも、より効果的で効率的な自治体経営を進めていく取り組みを進めております。

その一つとして、まちづくりの方向性を目的別に示したものの（施策）について、指標を設定し、前年度の活動内容を評価する「施策評価」と、個々の活動（事業）について、前年度の活動内容を評価する「事務事業評価」を、それぞれ毎年度実施しています。

これらは、施策・事業ごとに評価しており、現状や事業の内容を簡潔にまとめております。

施策評価および事務事業評価の結果は、市ホームページのほか、市立図書館にて閲覧することができます。ぜひご利用ください。

●判定結果と市の方針

事業仕分け判定結果および市の方針の詳細については、市ホームページで、市民判定人・傍聴人の皆様にご回答いただいたアンケート集計結果とともに公表しております。

市では、この方針をもとに事業を見直し、平成25年度予算案の編成作業を進めてまいります。また、事業仕分けや、アンケートで寄せられたご意見につきましては、今後の市政運営の参考にしてまいります。



事業仕分け会場（2階会場）

◆平成24年度 事業仕分け判定結果を受けた市の方針 一覧表

事業名称	事業仕分け判定結果	市の方針	担当課
広報事業	要改善	継続(見直し)	企画部 秘書広聴課
市税前納報奨事業	不要	廃止	総務部 収納課
自治活動施設建設費等補助事業	要改善	継続(見直し)	市民生活部 市民協働課
家庭系可燃ごみ収集事業	要改善	継続(見直し)	市民生活部 環境課
民間交通安全指導員設置事業	不要	廃止	市民生活部 防災課
地域生活支援事業	要改善	継続(見直し)	保健福祉部 社会福祉課
学童保育事業	要改善	継続(現行どおり)	保健福祉部 こども課
家族介護継続支援事業	(紙おむつ)	要改善	保健福祉部 介護長寿課
	(慰労金)	要改善	
予防接種事業	要改善	継続(現行どおり)	保健福祉部 保険課
しどりの湯管理事業	不要	継続(見直し)	産業部 農政課
静峰ふるさと公園管理事業	要改善	継続(見直し)	産業部 商工観光課
木崎地区地籍調査事業	要改善	継続(見直し)	建設部 土木課
市営住宅管理事業	要改善	継続(見直し)	建設部 建築課
預かり保育事業	要改善	継続(見直し)	教育委員会 学校教育課
青少年相談員設置事業	要改善	継続(見直し)	教育委員会 生涯学習課
消防団設置事業	要改善	継続(見直し)	消防本部 警防課

「那珂市地域公共交通連携計画」を策定

公共交通については、自動車交通の普及に伴う利用者数の減少等により地方におけるバス路線の減便や廃止等が進み、高齢者や学生等、いわゆる交通弱者の移動手段の確保が課題となっています。

市では、適切な公共交通サービスの提供と持続性のある仕組みづくりに向け、地域の実情やニーズを的確に把握するとともに地域の公共交通の課題を明確化し、必要な公共交通に関する施策を位置づけることを目的に、那珂市地域公共交通会議において検討を重ね「那珂市地域公共交通連携計画」を策定しました。

●公共交通に関する課題

公共交通に関するアンケート調査および地域コミュニティとの意見交換会を実施し、那珂市の公共交通の現況や上位計画等を踏まえながら、公共交通に関する課題を次のように整理しました。

- ◆ 地域特性に合わせた移動手段の提供
- ◆ 公共交通の利便性の向上
- ◆ 公共交通サービスのターゲットと需要の明確化
- ◆ 持続可能性のある交通システムの構築
- ◆ 利用促進に向けた市民意識の醸成



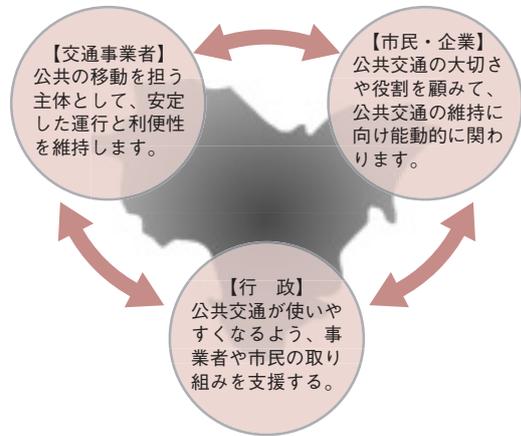
●那珂市地域公共交通連携計画の方針

公共交通は守り育てることが不可欠であり、市民自らが関わりを持たないと公共交通の維持は困難です。地域にとって使いやすい公共交通システムとするため、利用促進施策を講じることが必要です。地域に合ったシステムを構築することを基本的な認識とし、市民・企業、交通事業者、行政の役割および目標を定め、公共交通のあり方を次のように方針として示しました。

**みんなで親しみ守り育てる
暮らしを支えるはーとの交通**

●みんなで親しみ

公共交通を守り育てるため、多くの方が公共交通に関心を持つ環境を創ります。



●はーとの交通

自分で移動手段を持たない人々の不便さを理解し、行政区域がはーとの形をした那珂市で心のこもった交通サービスを提供します。

◆基本方針Ⅰ
求められた水準を考慮した持続できるサービスを提供します。

◆基本方針Ⅱ
既存の交通システムとデマンド交通の連携により、利用者により「行き届く」交通システムを構築します。

◆基本方針Ⅲ
「公共交通の『新たな利用価値』」を提供するため、各種主体の連携や情報発信に取り組みます。

問い合わせ

政策企画課
公共交通対策室
☎298・1111
(内線432)

●公共交通の連携に向けた施策

◆基本方針Ⅰ

施策①

継続して利用者の意見を把握し公共交通のニーズを顕在化します

施策②

交通モードと地域特性を考慮した公共交通体系の再構築をします

施策③

既存公共交通の利用環境の改善に努めます

◆基本方針Ⅱ

施策④

市内の移動手段としてデマンド交通システムを導入します

施策⑤

コミュニティバスの運行体系の適正化を図ります

◆基本方針Ⅲ

施策⑥

高齢者が利用目的とする施設との連携を強化します

施策⑦

高齢者以外の幅広い層の利用を促進します

施策⑧

公共交通に関する情報発信やトピックの提供に取り組みます

「デマンド交通」実証運行

4月1日運行開始

「那珂市地域公共交通連携計画」の施策として「デマンド交通（乗合タクシー）」の実証運行を4月1日から開始します。

「デマンド交通」とは、日常生活の移動手段に不便をきたしている地域住民の交通手段の確保を図るため、利便性の高い新たな地域公共交通として、自宅から市内の目的地まで乗り合いによる送迎を行う予約型乗合交通です。

●利用方法について（利用の流れ）

①利用者登録

事前に利用者登録申請書に必要事項を記入し、市役所（本庁）政策企画課へ提出します。

②乗車券の購入

デマンド交通を利用するには、利用料金が必要になりますので、事前に乗車券を購入いただきます。

◆利用料金（一回利用ごとに）

- ・中学生以上 300円
- ・小学生 100円
- ・未就学児 無料（保護者同伴）

◆販売場所

- ・市役所（本庁）4階政策企画課
- ・瓜連支所
- ・デマンド交通車両の車内（利用予約時に依頼してください）

③利用予約

利用したい「出発便」と「目的地」を電話で予約します。

◆運行日

月曜日から金曜日
（祝日および年末年始を除く）

◆運行時刻

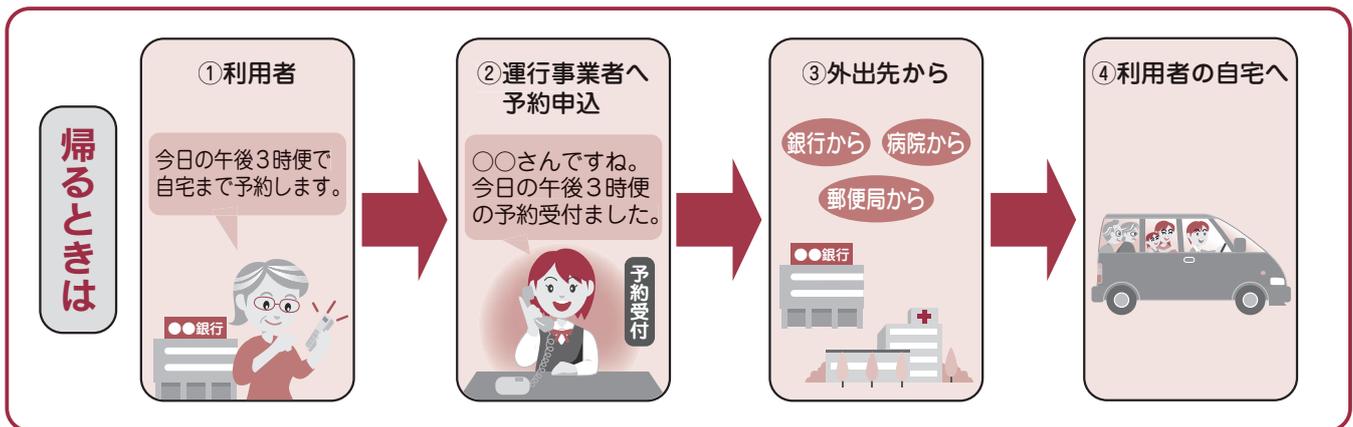
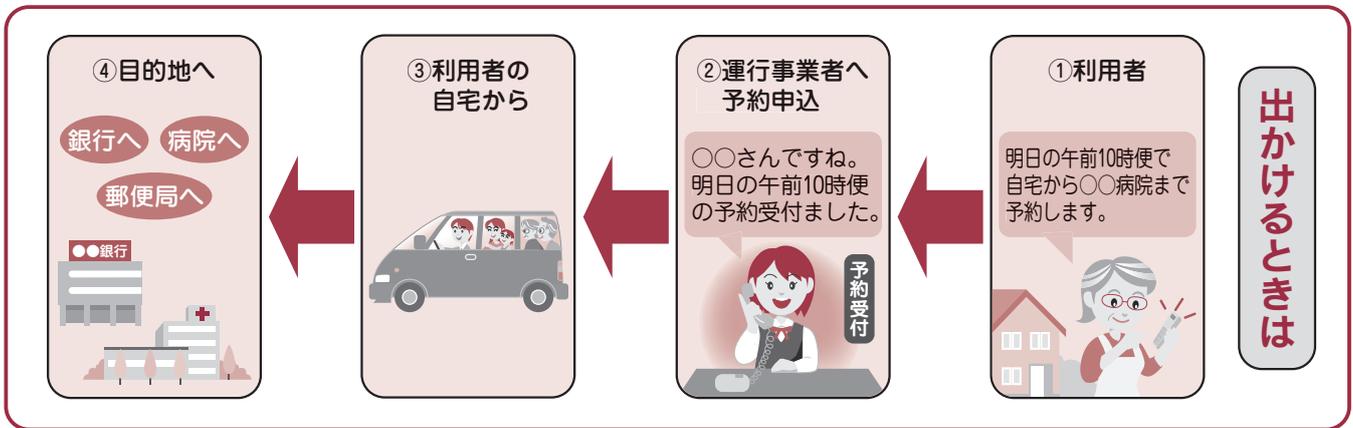
午前8時から午後4時までの時間帯で1時間に1便として1日8便
（正午は運行しない）

◆乗降場所

登録者の自宅
乗降場所として指定する施設
（公共施設・医療機関・金融機関等）

●利用者登録は3月から

利用者登録の受付は、3月から実施いたします。利用登録申請書を提出いただきますと、後日、登録証を発行いたします。



平成24年第4回那珂市議会定例会

12月5日～18日の14日間の会期で開催

議会



市長提出議案は報告1件、条例の制定・一部改正10件、平成24年度補正予算8件、平成24年度決算の認定1件、その他2件、合わせて22件について審議され、全議案について原案のとおり可決されました。

行政概要報告

■事業仕分けについて

9月29日に中央公民館において、16の事業を対象に市民視点での評価を取り入れた市民判定期間方式による事業仕分けを行いました。事業仕分けは公開で開催し、63人のかたの傍聴をいただくとともに、インターネットによる生中継も実施しました。市民判定期間の評価結果は、評価対象の16事業に対して、不要が3事業、要改善が13事業という結果になっております。

この判定結果を受け、市の対応方針を廃止2事業、廃止を含めた見直し1事業、見直し11事業、現状どおりを2事業と決定しました。

■表彰式典について

11月17日に、表彰式典を総合センターらぼーるにおいて開催し、67人を表彰しました。また、東日本大震災の災害復旧にご尽力いただいた2団体へ感謝状を贈呈しました。

■ふれあい座談会について

11月7日に、「市長と話そうふれあい座談会」を開催し、団体のかたから出た地域の課題について意見を交換したり、施策の取り組みに関する質疑について説明をしました。

■那珂市地域公共交通連携計画の策定について

那珂市の実情に応じた持続可能な地域公共交通体系を構築するため、「那珂市地域公共交通連携計画」を10月に策定しました。

■駐輪場への防犯カメラの設置について

上菅谷駅および後台駅の駐輪場に、盗難や犯罪等の防止を図るため、11月に防犯カメラを設置しました。

■水郡線SL運行について

沿線地域の活性化と水郡線「奥久慈清流ライン」のPRを目的として、県および沿線市町で構成する茨城県水郡線利用促進会議とJR水戸支社により、14年ぶりに11月30日から12月2日までの3日間、水戸～常陸大子間を1日1往復、SLを運行しました。

12月1日には常陸大子駅前において、ひまわり油の販売など市の観光PR、また12月1日、2日には上菅谷駅構内においてひまわりの種の配布および大助囃し保存会による歓迎イベントを実施しました。

■那珂聖苑火葬炉内の全体積み替えについて

3号炉の火葬炉内耐火物全体積み替え修繕を9月に発注しました。

■有害鳥獣捕獲について

8月20日から9月30日までの42日間、農作物に被害をおよぼすイノシシの捕獲を実施しました。捕獲範囲は市内常磐自動車道以北地域(戸多・戸崎・中里・古徳・静・額田南郷地内)で、17頭捕獲しました。本年の捕獲頭数合計は前期(6月10日から7月20日まで41日間実施)の16頭捕獲と合わせて33頭となりました。

■額田保育所民営化検討委員会について

行政改革の実施計画に沿って額田保育所の民営化について、11月21日に第1回の検討委員会を開催しました。今後、那珂市の現状を踏まえながら、民営化の方法、ガイドラインの策定等について協議してまいります。

■総合老人保健センター「ひぬま荘」について

10月19日に「ひぬま荘」の管理運営組織である水戸地方広域市町村圏事務組合が、地方自治法第288条の規定に基づき、茨城県知事へ解散届出書を提出しました。これにより構成市町村返還金2078万352円が、10月30日に市に返還されました。

■敬老行事について

9月12日に本年度百歳達成者17人を訪問し、国、県からの褒状と記念品および市からの記念品を贈呈しました。市内最高齢者および米寿を迎えられた282人には、市からの記念品を贈呈しました。

また、敬老行事が9月9日から11月4日にかけて、8地区28か所で開催されました。市全体の出席率は30.1%でした。

■両宮排水路整備について

両宮排水路工事（上流部）および両宮排水路中間部第1期改修工事を9月に発注しました。

■公共下水道事業について

下菅谷地区污水管布設(第3工区)工事、菅谷西地区污水管布設(第1工区)工事、向山地区污水管布設(第1工区)工事を10月に、それぞれ発注しました。

■農業集落排水事業について

鴻巣Ⅱ期地区管路施設幹線3号第6工区工事を11月に発注しました。鴻巣Ⅰ期地区管路施設災害復旧工事が完了したことに伴い、鴻巣Ⅰ期地区の供用開始告示を10月に行いました。

■上水道事業について

寄居地区配水管移設(第1工区)

工事を9月に、瓜連配水場緊急遮断弁用制御盤設置工事、下菅谷地区配水管移設(第1工区)工事および下菅谷地区配水管移設(第2工区)工事を10月に、向山地区配水管布設(第1工区)工事を11月にそれぞれ発注しました。

■第三中学校補強工事期間の変更について

第三中学校校舎復旧および屋内運動場耐震補強工事について、学校の授業、試験日や学校行事等の都合により、作業中止等を実施したため、作業日数が不足したため、工期を10日間延長し、12月10日までに変更しました。

■図書館について

10月27日と28日の2日間、図書館まつりを開催し、フリーアナウンサーの小宮悦子氏の講演会、ボランティアによるおはなし会・朗読会、村上天妻によるコンサートを実施し、多くのかたがたの参加をいただきました。

11月11日には開館から6年1か月、開館日数1610日目で入館者数が200万人に達しました。

■消防業務について

9月1日から11月30日までの消防訓練指導につきまして、事業所や学校等を対象に21回行い、2963

人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、普通救命講習会は6回行い182人が修了し、応急手当の普及に努めました。

火災出場件数につきましては、建物3件、その他が1件、合計4件。救急出場件数につきましては、急病が277件、交通事故が82件、その他が111件、合計470件となっております。

9月30日に、第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会が北茨城市で開催され、第6分団第1部が自動車ポンプの部で3位入賞、第6分団第2部が小型ポンプの部で敢闘賞を受賞しました。

■東日本大震災について

市民の放射線に対する不安を解消するため、公共施設等における空間放射線量および水道水内の放射性物質濃度の測定を引き続き実施しております。簡易測定器により、保育所や学校の給食食材および市内で生産された農畜産物を独自に検査し、食における安全の確保と風評被害の防止に努めております。これらの測定結果につきましては、ホームページや広報紙等で公表しております。

災害対策の総合的かつ円滑な実施を図るため関係機関等と災害時応援協定を締結し、支援や協力体制の整備を引き続き進めております。9月

24日に公益社団法人隊友会茨城県隊友会那珂支部と災害時における避難誘導、物資輸送、情報収集支援に関する「災害時における協力に関する協定」について、9月26日には生活協同組合パルシステム茨城と災害時の物資の調達および安定供給のため「災害時における生活必需物資供給協力に関する協定」について、11月28日には那珂市下水道災害協力会と「下水道災害支援協定」について、それぞれ協定を締結しました。

また、11月18日には、大規模地震を想定し応急対策などの防災活動が迅速かつ的確に実施できるよう、自主防災組織や関係機関の参加のもと防災訓練を実施しました。

復旧・復興に向けた各種工事の発注等につきまして、作業を進めております。道路災害復旧工事5件を発注しました。

市営住宅につきましては、鷺内、上宿西、中宿住宅の屋根瓦復旧工事は7月6日までに完成しました。室内被害の修繕は12月中に完了する予定です。

課税対象となっている住居等が震災により受けた被害の程度に応じて、市税等の減免措置を講じており、11月末日現在の減免の対象件数と見込み額は次のとおりです。

国民健康保険税は、全壊56件、大規模半壊14件、半壊238件で合計308件、2162万9700円で

市長提出議案

全議案可決

◎報告

専決処分について（平成24年度那珂市一般会計補正予算（第4号））

◎条例の制定・一部改正

市長の給料月額の特例に関する条例の一部を改正する条例／那珂市防災会議条例の一部を改正する条例／那珂市災害対策本部条例の一部を改正する条例／那珂市都市公園条例の一部を改正する条例／那珂市営住宅条例の一部を改正する条例／那珂市公共下水道条例の一部を改正する条例／那珂市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例／那珂市農業委員会の選挙による委員の選挙区設定条例の一部を改正する条例／那珂市道路の構造の技術的基準等を定める条例／那珂市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

◎平成24年度補正予算

平成24年度那珂市一般会計補正予算（第5号）／平成24年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）／平成24年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第1号）／平成24年度那珂市公園墓地事業特別会計補正予算（第1号）／平成24年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第2号）／平成24年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）／平成24年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）／平成24年度那珂市水道事業会計補正予算（第1号）

◎平成24年度決算の認定

平成24年度那珂地方公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について

◎その他

大宮地方環境整備組合規約の変更について／土地の取得について

す。後期高齢者医療保険料は、全壊51件、大規模半壊19件、半壊140件で合計210件、574万2400円です。東日本大震災による国民健康保険税および後期高齢者医療保険料の減免については、9月末で終了しました。

震災により住宅が半壊以上の損害を受けた介護保険第1号被保険者について、その損害程度および前年度の所得状況に応じて、介護保険料を25%以上軽減または免除しました。減免対象件数は全壊53件、大規模半壊21件、半壊213件、減免額は全壊286万2千円、大規模半壊43万7千円、半壊544万3千円です。また、介護保険料の減免対象者で

介護サービスを利用しているかたについて、介護サービス利用料の1割の利用者負担額は9月末まで、施設サービスにおける食費・居住費は2月末まで免除しました。9月末現在の利用者負担額免除対象件数は54件、免除額は1086万5千円、食費、居住費免除対象件数は24件、免除額は516万7千円です。

原子力災害対策特別措置法の規定により、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う避難民に対しましては、国民健康保険税等を全額免除しました。全額免除となったのは、国民健康保険税が6件で52万8900円、後期高齢者医療保険料が4件で5万3100円、介護保険第1号

被保険者の介護保険料が5件で免除見込み額は25万5千円です。

10月19日に、東京電力に対し、事故の対策にかかった費用の損害賠償を請求しました。今回の請求は放射線測定に関する人件費で、総額約420万円です。

農畜産物の損害賠償額につきましては、11月末までの申請状況は、JAひたちなか請求者数を含め累計で93件、請求額8329万円です。また、請求に伴う東京電力からの支払いにつきましては、11月30日現在で支払総額6287万円となっております。

被災されたかたを支援するため、引き続き被災者生活再建支援制度に

よる国の支援金および県・市の災害見舞金を支給しており、11月末日現在の支給状況は次のとおりです。国の支援金は、全壊が159件、大規模半壊が9件、合計168件で総額2億1100万円です。県の災害見舞金は、半壊179件で、537万円です。市の見舞金は、住家の全壊が46件、半壊が242件、非住家の半壊以上が、276件、合計564件で総額1946万円です。また、災害援護資金の貸付は、9件で1680万円です。

平成24年12月5日

那珂市長 海野 徹

平成25年

那珂市成人式

1月12日、那珂総合公園で、平成25年那珂市成人式が開催されました。
今年の那珂市の新成人は566人で、式典には432人が参加し、成人として新たな一歩を踏み出しました。



成人式実行委員の皆さん



◆代表して謝辞を述べた成人式実行委員長の生井愛海さん

スポーツ推進委員だより

問い合わせ

生涯学習課
スポーツ推進室（那珂総合公園内）
☎297・0077

〔全国スポーツ推進委員研究協議会に参加して〕

報告者：根本傳次郎

第53回全国スポーツ推進委員研究協議会・長崎大会が11月29日・30日に長崎県長崎市において開催されました。

この大会は、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上をはかり生涯スポーツの振興に資することを目指して毎年開催されるもっとも大きい研究協議会です。

今年是全国から約4000人の参加がありました。大会は「チャレンジ！〜スポーツ新時代に向かって〜」をテーマに、1日目は開会式、表彰式、講演およびシンポジウムが行われ、2日目は4分科会が開催されました。私たちは第1分科会に参加しました。



大会スケジュール

【1日目】開会式、表彰式、講演、シンポジウム

○講演・シンポジウムテーマ

「豊かなスポーツライフで人や地域が輝く街づくりを目指そう」

講演講師：松元利弘氏（長崎県立諫早高校陸上競技部監督）

シンポジウムコーディネーター：

山口泰雄氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）

【2日目】分科会（発表、研究協議）

○第1分科会「人と地域がかがやく、魅力ある総合型地域スポーツクラブを目指して」

○第2分科会「スポーツ推進委員が生み出す、地域スポーツと地域活性化」

○第3分科会「多様なライフステージにおける、それぞれのスポーツ推進」

○第4分科会「躍動するスポーツ推進委員 ～地域スポーツ推進の中核として～」



根本傳次郎さんがスポーツ推進委員30年勤続で表彰
11月29日・30日に長崎県長崎市で開催された「第53回全国スポーツ推進委員研究協議会」の表彰式において、根本傳次郎さんが30年勤続で表彰され、表彰状と記念品が授与されました。

スポーツ推進委員（体育指導委員から名称が変更になりました）の役割は、スポーツ基本法に基づき、「スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整ならびに住民に対するスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導および助言を行う」と定められております。その趣旨に沿い、私たちスポーツ推進委員は、水戸地区スポーツ推進委員会協議会の実技研修等に参加し、ニュースポーツの普及等、推進委員の資質向上と意識改革を行っております。また、地域住民の健康維持向上と地域コミュニティの活性化および生涯スポーツを楽しむきっかけづくりも行っております。

なお、今年で3年目を迎えました那珂市総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」にスタッフとして運営にも協力しております。

今回は、今年度行われた主な研修・実技指導を紹介します。

スポーツ推進委員会

委員長 三田寺 正義

【ニュースポーツ紹介】ヘルスパレーボール

報告者：竹林勝男

ヘルスパール（ストレッチ体操用ボール）を使用し、バレーボール形式で行う競技で、昭和53年に千葉県流山市で運動不足解消の一環として始まりました。

ボール形状が楕円形でラグビーボールのような形をしているため、競技中に空中での動きが変化するので、ハプニングも多くなり、通常では味わえない面白味があり、楽しく、体力づくりができるスポーツです。

（ルール）

- コート：ソフトバレーと同じ
- ボール：楕円形

（ビニール製で外周を布で覆っている）

- 人数：4人～6人

- サーブ：所定の場所より投げ込む

- ブロック：禁止。2～5回で返球する

- プレー上の楽しさ・効果

- ①レクリエーション感覚で楽しめる

- ②ボールが軽いので、容易にプレーできる

- ③少ない練習でプレーできる

- ④ラリーが長く続くため、楽しさが増える

- ⑤家族単位でもチーム編成できる

- ⑥年齢に拘らず体力向上になる

- ⑦全身の柔軟性が養われる

- ⑧全身運動で筋力がアップする



◆ヘルスパレーボール

【関東スポーツ推進委員研究大会に参加して】

報告者：檜山眞弓

今年度は、長野県の松本文化会館において、1都8県からスポーツ推進委員と関係者1700人の参加のもと、6月1日・2日の2日間にわたって行われました。

1日目は午後1時に開会し、表彰式、アトラクションと、ノルディック複合五輪金メダリスト萩原健司講師による基調講演「挑戦は未来をひらく」が行われました。萩原さんが金メダルを取るきっかけになったのは、父親の一言でした。「どうしたらテレビに出られるのか」と尋ねた萩原さんは、「オリンピックで一番になれば毎日テレビに出られるぞ」と父親に言われ、それが萩原さんにとって、オリンピックを初めて意識した瞬間だったそうです。私も個人個人の中から得意なものを見つけ、それを伸ばすきっかけを作れたらと思います。

2日目は、第1分科会から第4分科会があり、私たちは第1分科会に出席し、テーマ「松本市民の健康づくり施策」についてのパネルディスカッションが行われました。松本市では、ソフトバレーボール・軟式野球・マレットゴルフ・ラージ卓球を1日かけて行い、交流を図るそうです。那珂市も市民とスポーツ推進委員が一体となって体育大会を行うことができたらと思います。



◆関東スポーツ推進委員研究大会

【総合型地域スポーツクラブへの支援】

報告者：根本修一

私たちスポーツ推進委員には、スポーツの実践指導に加え、市民と行政を結ぶスポーツコーディネーターとしての役割が期待されています。この実践活動として、平成22年2月に推進委員全員で、那珂市総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」を立ち上げ、現在ではOB推進委員を含め、約40人でクラブを運営しています。

このクラブは、「いつでも どこでも いつまでも」地域住民が広く自由に楽しくスポーツと文化に親しむ機会を提供し、住民のスポーツと文化を愛する風土の醸成および健康づくりとコミュニティづくりを寄与することを目的としています。

活動内容は、定期教室として、太極拳、健康体操（シルバリーハビリ体操）、スポーツ吹矢、卓球、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、バドミントン、イベント事業としてウォーキング教室などを、市内にある5つの中学校すべての学区内で、毎月40回ほどの事業を展開しています。会員は、中高年層を中心に300人を数え、毎月延べ600人の皆さんが参加しています。

今後は、若年層のかたがたにも興味のある種目を導入し、年齢構成のバランスを図り、より多くの市民の皆さんにご参加いただけるよう頑張らせてまいります。



◆ウォーキング教室

消防ポンプ自動車を更新しました

長年活躍した消防ポンプ車が老朽化したため、最新型の車両に更新し、12月から西消防署に配備し運用しています。

この車両は、緊急消防援助隊登録としての車両で、室内をハイルーフ仕様にする事で、機能性を充実させました。また、双方向サイドプルシステムは左右どちらでも吸水管を引き出す事が可能で、水利部署する方向を選びません。本車両は、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車で、水2000リットルが積載できるなど、高い機動力を保持しており、多様な災害に対応することが可能な車両です。



問い合わせ

消防本部 ☎ 295-2111

平成 25 年

新春那珂市消防出初式



◆平成25年那珂市消防出初式（那珂総合公園）

新春恒例の「平成25年那珂市消防出初式」が1月13日、那珂総合公園多目的広場で開催されました。消防本部や消防団、自衛消防隊、婦人（女性）防火クラブ、幼年消防クラブなど800人程が参加し、張りつめた空気の中、地域防災への決意も新たに士気の高揚を図りました。

また、永年勤続功労者や、優良分団の表彰が行われたほか、幼年消防クラブのかわいらしい踊りも披露されました。

◎表彰、感謝状を受けたかた

（順不同・敬称略）

- 茨城県知事表彰
永年勤続功労章を授与する職団員
（40年以上）
元消防団第5分団第2部部长 寺門 賢一郎／消防本部消防司令長 萩野 谷孝／同 海老澤幸男
- 永年勤続功労章を授与する職団員
（30年以上）
消防本部消防司令 宮田好男／同 大谷貞章／同 飛田裕二／同 元木 利光／同 小田部茂生／同 小蘭井 司／同 鈴木将浩
- 永年勤続功労章を授与する職団員
（20年以上）
消防団第5分団第3部部长 叶野豊／同第5分団第3部班長 田口進／同第5分団第1部団員 叶野由治／同第6分団第2部団員 磯崎宗雄／同第6分団第2部団員 鈴木孝／消防本部消防司令補 櫻村重樹／同 菱沼孝行
- 茨城県消防協会会長表彰
優良分団表彰
那珂市消防団第5分団
- 那珂市消防団長表彰
感謝状を授与する団員（ポンプ車操法の部）
消防団第6分団第1部（班長 仲田 浩二／団員 増子孝洋／山田好隆／飯田崇善／里見慎一／鈴木義洋）
- 感謝状を授与する団員（小型ポンプ操法の部）
消防団第6分団第2部（団員 阿部 敬二／薄井勝富／後藤誠／稲田雅裕／鈴木孝）

平成 25 年

那珂市新年賀詞交歓会

1月17日、中央公民館で、平成25年那珂市賀詞交歓会が開催されました。市執行部や市議会をはじめ、市内各界代表者など250人が一堂に会し、那珂市のさらなる飛躍を誓いながら、親交を深めました。

式典では、海野市長が「本日までご参会の皆様のご活躍とご発展をご祈念申し上げますとともに、今年一年が無事平穏で喜びに満ちた輝かしい年であり、ご健康で幸多き年であることを心からお祈り申し上げます」と新年のあいさつを述べました。

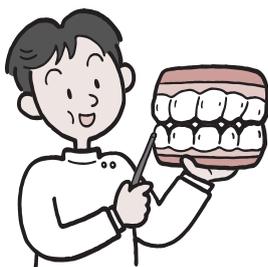
また、ステージ上では、アトラクションとして、那珂混声合唱団（那珂市文化協会声楽部会所属）の皆さんによる合唱も行われ、美しい歌声が会場を華やかな雰囲気包みました。



那珂混声合唱団によるアトラクション

口腔癌（こうくうがん）は、舌癌（ぜつがん）、歯肉癌（しにくがん）、口腔底癌（こうくうていがん）、頬粘膜癌（きょうねんまくがん）、口唇癌（こうしんがん）、口蓋粘膜癌（こうがいねんまくがん）、唾液腺癌（たえきせんがん）などの、口腔内にできる癌の総称です。

の死亡例が増えています。発生頻度の高い口腔癌は、舌癌、歯肉癌などです。舌癌は、主に歯の当たりやすい舌の側縁部や舌の裏側に発生します。不適切な詰め物や義歯による慢性的な傷や喫煙、飲酒などが原因と考えられています。次に発生頻度の高い口腔癌は、歯肉癌です。歯肉癌は、初期症状が少なく歯の動揺や歯肉の腫張といった症状で気づいた時には、進行が進んでいるケースが見られます。いずれの口腔癌においても、初期症状に乏しく、痛みが少なくため、放置されることが少なくありません。口の中に腫れを感じたり、歯肉や舌にしこりなどを見つけた場合は、必ず専門医の診断を仰ぎましょう。



歯の教室 - 第11回 -

お口の中にできる癌



小林デンタルクリニック
小林克男 先生

発生頻度は、癌全体の約3%前後と少ないのですが、舌や歯肉など目に見える部分にできるので、初期症状を発見しやすいものの、痛みや全身症状を伴うことが少なく、症状の似た口腔内の他の疾患と間違えるなどして、口腔癌を疑われず進行するまで放置されてしまうことも多く、近年では口腔癌で

那珂市内の放射線量の測定状況をお知らせします

市内の小中学校、幼稚園、都市公園、保育所（園）、体育施設などで放射線量を測定しています。また、市ホームページにも掲載しています。

○小中学校、幼稚園

担当課および測定場所	測定値	測定日
学校教育課	本米崎小学校	0.092 1月8日
	横堀小学校	0.091 1月8日
	額田小学校	0.072 1月8日
	菅谷小学校	0.089 1月7日
	菅谷東小学校	0.084 1月8日
	菅谷西小学校	0.095 1月8日
	五台小学校	0.095 1月8日
	戸多小学校	0.102 1月8日
	芳野小学校	0.097 1月7日
	木崎小学校	0.089 1月7日
	瓜連小学校	0.100 1月8日
	横堀幼稚園	0.086 1月8日
	額田幼稚園	0.080 1月7日
	菅谷幼稚園	0.081 1月7日
	菅谷西幼稚園	0.103 1月8日
	五台幼稚園	0.115 1月9日
	芳野幼稚園	0.083 1月9日
	那珂第一中学校	0.074 1月8日
	那珂第二中学校	0.093 1月8日
	那珂第三中学校	0.092 1月8日
	那珂第四中学校	0.069 1月8日
	瓜連中学校	0.085 1月8日
	茨城学園	0.086 1月8日
	ナザレ幼稚園	0.068 1月8日
	さいせい幼稚園	0.121 1月8日
	大成学園幼稚園	0.083 1月9日

○公共施設

担当課および測定場所	測定値	測定日
保健センター	保健センター(ひだまり)	0.088 1月8日
	中央公民館	0.100 1月9日
生涯学習課	図書館	0.096 1月9日
	那珂総合公園	0.106 1月8日
	歴史民俗資料館	0.110 1月9日
	ふれあいの杜公園	0.107 1月8日
市民協働課	ふれあいセンターよこぼり	0.092 1月9日
	ふれあいセンターごだい	0.108 1月9日
	ふれあいセンターよしの	0.099 1月9日
	総合センターらぼーる	0.100 1月9日
那珂聖苑	那珂聖苑	0.108 1月9日
都市計画課	中谷原公園	0.104 1月9日
	宮の池公園	0.101 1月9日
商工観光課	一の関ため池親水公園	0.101 1月7日
	静峰ふるさと公園	0.110 1月7日

○保育所、保育園など

担当課および測定場所	測定値	測定日
こども課	菅谷保育所	0.073 1月8日
	額田保育所	0.078 1月7日
	ゆたか保育園	0.103 1月7日
	かしま台保育園	0.085 1月10日
	ごだい保育園	0.091 1月9日
	瓜連保育園	0.094 1月7日
	子育て支援センター	0.084 1月9日

- 測定値の単位は、すべて、マイクロシーベルト/時間です。
- 小中学校、幼稚園、保育所（園）は地表面から50cmの高さでの測定値で、公共施設は地表面から1mの高さでの測定値です。
- 測定結果は、すべて国の除染等の基準を下回っております。
- その他の高さの測定値はホームページをご覧ください。

●水道水の環境放射能水準調査結果

12月15日から1月14日までの期間、市内各浄水場（後台、木崎、瓜連）および芳野配水場の水道水の放射性物質（放射性ヨウ素および放射性セシウム）の測定結果は、いずれも不検出となっています。

各浄水場および芳野配水場の測定は週1回行っています。詳細は、市ホームページに掲載しています。

【日常生活で少しでも放射線を少なくできる方法】

- 校庭・園庭などの屋外での活動後には、手や顔を洗い、うがいをする。
- 土や砂を口に入れないように注意し、口に入った場合には、うがいをする。
- 登校・登園時、帰宅時に靴の泥をできるだけ落とす。
- 土ぼこりや砂ぼこりが多いときは、窓を閉める。

問 那珂市役所
学校教育課 298-1111
こども課 内線8276
保健センター 内線252
生涯学習課 内線531
市民協働課 内線8282
都市計画課 内線263
商工観光課 内線355
水道課 内線245
那珂聖苑 内線8365
352-0073



選挙いろいろ

Q & A

問い合わせ

那珂市選挙管理委員会

☎ 298・1111

(内線 514・515)

このコーナーでは、市民の皆さんが選挙について抱いている疑問や、知りたいことについてお答えしていきます。

Q 身体が不自由なのですが、自宅で投票することはできませんか？

A 郵便等による不在者投票制度があります。身体障害者手帳か戦傷病者手帳をお持ちのかたで、次のような障がいのあるかた（○印の該当者）または介護保険の被保険者証の要介護状態区分が「要介護5」に該当するかたは、自宅等で投票用紙に自書して郵便等により市の選挙管理委員会へ送付する方法で不在者投票をすることができます。

【身体障害者手帳の例】

障がい名	障がいの程度		
	1級	2級	3級
両下肢、体幹、移動機能の障がい	○	○	×
心臓、じん臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸の障がい	○	○	○
免疫、肝臓の障がい	○	○	○

この制度を利用するためには、あらかじめ市の選挙管理委員会に申請を行い、「郵便等投票証明書」の交付を受けていることが必要です。

また、前述の郵便等による不在者投票をすることができるかたで、かつ、自ら投票の記載をすることができない者として定められた障がいのあるかた（身体障害者手帳の上肢、視覚の障がいの程度が1級のかたなど）は、あらかじめ市の選挙管理委員会に届け出た者に、代理で投票用紙の記載をさせることができます。

郵便等による不在者投票制度の詳細については、那珂市選挙管理委員会までお問い合わせください。

Cook



ヘルスマイトさんが作る健康料理[®]

栄養満点お好み焼き

■作り方

- ①じゃがいもは太めの千切りにし、柔らかくゆでて冷ます。
- ②スライスチーズ、ボンレスハム、キャベツは千切りにする。
- ③コーン（缶詰）はザルにあけて水切りしておく。
- ④分量の小麦粉、スキムミルク、溶き卵、牛乳をボウルに入れて混ぜ、その中に①、②、③を加え塩少々を加えてざっくり混ぜる。
- ⑤フライパンまたはホットプレートにサラダ油を薄くひき、弱火で中に火が通るまでじっくり焼く。

※お好みで花鰹をかけてください

■材料（4人分）

小麦粉 ……………110g
 スキムミルク……………10g
 塩……………少々
 たまご……………1個
 牛乳 …………… 180ml
 キャベツ ……………100g

プロセスチーズ……………1枚
 ボンレスハム……………1枚
 じゃがいも……………中2個
 コーン（缶詰）……………140g（小1缶）
 ソース……………適量
 油……………小さじ2

■ 1人分295kcal／塩分1.11g

今月のヘルスマイトさん

那珂市食生活改善推進員
連絡協議会

大和田美知子さん

飯田（こども食部会）

■コメント

味だくさんの汁物を添えれば休日のランチに、小さいお子さんから受験生のお腹を満足させることうけあいです。

梅大使が那珂市役所訪問



2月20日から3月31日まで、水戸市で開催される「第117回水戸の梅まつり」のPRのため、1月22日「2013水戸の梅大使」10人が那珂市役所を訪問しました。2月22日から3月10日の期間は、偕楽園の開園時間を延長してライトアップが行われます。

梅大使は、12月までの任期中、水戸市の観光PRのほか茨城県内の観光PRも行います。

一乗院で消防総合訓練を実施



昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物の法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機に毎年1月26日が「文化財防火デー」に制定されました。

市内においても運動の一環として、1月25日、一乗院(飯田)で消防総合訓練を実施しました。訓練は、重要文化財の搬出訓練、初期消火訓練を行うとともに、通報を受けた消防隊が出動し、消火活動を行いました。

白銀の世界を駆け抜ける



少年少女スキー・スノーボード教室が、たかつえスキー場(1月5日、6日)、裏磐梯スキー場(1月13日)で開催され、2回で160人がスノースポーツを楽しみました。

教室は、初心者から経験者まで一人ひとりのレベルに合わせて行われ、コツをつかんだ参加者はどんどん上達して、広大な白銀の世界を時間の許す限り、思い思いに滑っていました。

親子のかかわりを大切に



12月1日、那珂市更生保護女性会が「わくわく親子料理教室」を開催し、幼稚園から小学生の親子14組31人で5品のクリスマスパーティー用の料理を作りました。食育が推進されてから久しくなりますが、この教室は、家庭内で幼少年期に親とのかかわりの重要性を認識することで、子どもの非行を防止できればという更生保護の立場からの考えから実施され、今後も機会があれば開催される予定です。



「花」で美しい環境づくり

12月8日、市内のボランティアクラブ「なかなか塾」が、那珂インター線飯田押敷交差点付近の沿道で、植栽活動を行いました。

塾生のほか水戸農業高校、那珂高校、なるみ園、東海那珂ロータリークラブの皆さん70人が3000本の花を沿道に植えました。また、紅白の葉牡丹で「なか」の文字を飾り付け、仲間で結ぶボランティアの輪を広げようという心が表現されました。



瓜連おはやし保存会が演奏指導

瓜連おはやし保存会では、活動の一環として瓜連小学校の音楽クラブに太鼓の演奏指導を行っています。

4年生から6年生の児童20人が、月2回太鼓の指導を楽しみにしており、毎回終了時を忘れてしまうほど夢中になって演奏指導を受けています。

この指導の様子は、「大好きいばらき県民会議」のホームページのふるさと自慢コーナーで紹介されます。



「家庭の日」図画・作文表彰式典

12月8日、第8回家庭の日図画・作文発表会並びに表彰式典が総合センターらぼーるで開催されました。両部門の金賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)

■**作文の部** 新田悠(菅谷小1年)、安部里菜(額田小2年)、小田部陽菜(戸多小3年)、小又さくら(菅谷西小4年)、平山一輝(芳野小5年)、田崎宇宙(菅谷東小6年)、吉野祐太(那珂一中1年)、星将仁(那珂二中2年)、高橋千晴(那珂四中3年)

■**図画の部** 平直樹(菅谷東小1年)、秋山陸人(芳野小2年)、大津宏太(菅谷東小3年)、稲田陽生(木崎小4年)、鈴木知世(瓜連小5年)、和地真純(芳野小6年)、熊谷日菜(那珂二中3年)



クリスマスに美しい音色が響く

12月23日、総合センターらぼーるで、第4回那珂市民吹奏楽団クリスマスコンサートが開催されました。

那珂三中吹奏楽部との合同演奏会という形で実施され、サンタクロースやトナカイの衣装に身を包み、素晴らしい演奏を行いました。

また、瓜連おはやし保存会とのコラボ演奏も行い、会場に響き渡る太鼓と吹奏楽団のパワーあふれる演奏を披露しました。

ご協力ありがとうございます
善意銀行へ

11月16日～1月15日(敬称略)

- 井上 孝次 35,000円
 - 常陸鴻巣駅ふれあい駅舎
 - ワーキング委員会 4,513円
 - 水戸ヤクルト販売(株) 50,000円
 - 野木 利三郎 20,000円
 - 飯田芳陽会 24,657円
 - なかファミリーサポートセンター会
員交流研修会参加者一同 1,520円
 - 匿名 30,000円
 - 切手テレカボランティア ポピー
14,350円
 - 水戸友の会 5,000円
 - ガールスカウト茨城県第37団
14,738円
 - 日本ボーイスカウト那珂第3団
22,272円
- ※善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています
☎298-8881



水戸ヤクルト販売(株)の皆さん



ガールスカウト茨城県第37団の皆さん



日本ボーイスカウト那珂第3団の皆さん

＊ 国保ミニ情報 ＊

- 那珂市国保の加入者数 15,846人
(平成24年12月末現在・
前月比25人減)
 - 那珂市国保が医療費の一部として
支払った金額 3億2,178万円
(平成24年12月・
前月比4,050万円増)
- ※皆さんの日ごろの健康づくり、病気
予防の心がけが医療費の増加、ひい
ては国保税の増額を抑えることにつ
な갑니다。ご協力をお願いします

＊ 今月の納税 ＊

- 固定資産税・都市計画税 4期
- 国民健康保険税(普通徴収) 8期
- 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 8期
- 介護保険料(普通徴収) 6期

納期限：2月28日

■市税の納付は口座振替で
市税の納付には、便利で確実な
口座振替制度がありますので、ど
うぞご利用ください。
詳細については、下記までお問
い合わせください。
問い合わせ/収納課収納グループ
☎298-1111 内線174・175

那珂ふるさと大使
長須与佳さんより寄付



12月17日、那珂ふるさと大使の
長須与佳さんより100,000円が市に
寄付されました。
10月27日に開催されたチャリ
ティーコンサートの収益の一部で、
那珂市の災害復興に役立ててほし
いと寄付をいただきました。

＊ 人の動き ＊

- 那珂市の人口(1月1日現在)
※()内は前月比
- 男 27,577人 (－8)
 - 女 28,459人 (－29)
 - 計 56,036人 (－37)
 - 世帯数 21,431世帯 (－8)
-
- 出生 35人(12月1日～31日)
 - 死亡 67人

図書館カレンダー

3月

March

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日

●市役所の電話番号
☎298-1111 (代表)

●ホームページ URL
http://www.city.naka.lg.jp

●メールアドレス
hisho-k@city.naka.lg.jp

●おしらせ版
市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月2回)を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一 すこやかな心と体をつくりましょう
- 一 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一 助け合い思いやる心をもちましょう
- 一 きまりを守り安全を心がけましょう
- 一 自然を愛し資源をいかしましょう

行政・人権相談を開設します

日時/3月22日(金)
10:00~正午、13:00~15:00

場所/市役所(本庁) 5階会議室

開設相談/

○行政相談

国の行政機関などが行っている仕事についての苦情や意見・要望

○人権相談

人権を侵害されている問題や家庭内のめもごとなど

相談員/行政相談委員、人権擁護委員
申し込み・問い合わせ/

秘書広聴課市民相談グループ

☎298-1111 内線117

心配ごと相談

日時/3月6日(水)、13日(水)、
27日(水)

13:00~17:00

場所・問い合わせ/

那珂市社会福祉協議会(総合保健福祉センター「ひだまり」内)

☎298-8881

公民館まつり バザー・体験部会より寄付



12月12日、公民館まつりのバザー・体験部会より71,025円が市に寄付されました。

11月16~18日に開催された公民館まつりにおいて、「食の教室 ライス」、「マドレーヌ」、「花遊会」、「ラベンダーの会」の各団体が行ったバザーや、エコクラフト教室などの体験教室の益金を、那珂市の災害復興に役立ててほしいとして寄付をいただきました。

五台地区まちづくり 委員会より寄付



12月13日、五台地区まちづくり委員会より11,111円が市に寄付されました。

12月9日に開催された五台ふれあいまつりの際に集まった募金で、那珂市の災害復興に役立ててほしいとして寄付をいただきました。

茨城県公共嘱託登記土地 家屋調査士協会より寄付



11月22日、茨城県公共嘱託登記土地家屋調査士協会より50,000円が市に寄付されました。

那珂市の災害復興に役立ててほしいとして寄付をいただきました。



3月の休日当番医

3日 小野瀬医院 (後台)

☎295-2221

10日 西山堂慶和病院 (鴻巣)

☎295-5121

17日 かぼちゃクリニック (横堀)

☎352-1107

20日 ルリア記念クリニック(中里)

☎296-3333

24日 ののがき脳神経外科クリニック

(中台)

☎352-0555

31日 河野胃腸科外科 (竹ノ内)

☎295-5386

■診療時間/9:00~11:30

※受診の際、必ず当該医療機関へ電話で問い合わせください

※診療時間外は、「茨城県救急医療情報コントロールセンター」(☎241-4199)、または「那珂市消防本部」(☎295-2111)へお問い合わせください

法律相談

日時/3月12日(火) 13:00~17:00

場所/市役所(本庁) 1階市民相談室
相談員/弁護士

申込方法/事前に次まで予約してください。

申し込み・問い合わせ/

秘書広聴課市民相談グループ

☎298-1111 内線117

戸籍のまど

11月15日～1月14日届出

(敬称略)

おめでた

住所	出生児氏名	届出人
瓜連	越藤 陸	美博
中里	小又 秋人	英二
額田東郷	大榎 海翔	博文
菅谷	村上 蓮	貴哉
菅谷	三枝 暁人	利徳
菅谷	武藤 柊也	栄一
本米崎	清水 優雅	貴博
菅谷	柿崎 彩乃	剛史
菅谷	浅田 琴菜	将人
瓜連	神長 彩愛	正臣
豊嶮	横田 ゆり子	昌人
瓜連	佐藤 結理名	貴志
古徳	大部 裕人	哲也
菅谷	大内 彩愛	良介
瓜連	佐々木 豪映	謙
鴻巣	岸 蓮乃介	大介
杉	柴田 百音	康夫
平野	平松 六花	祐樹
菅谷	佐藤 奏真	由崇
菅谷	伊藤 優愛	一希
後台	高橋 龍吾	竜二
後台	丹 一龍	靖次
門部	小池 優斗	弘瑛
額田南郷	大森 悠希	秀幸
中里	小沼 駿	義弘
菅谷	宮田 芽依海	文敏
菅谷	石沢 美優	豪明
後台	田口 彩笑	司
菅谷	寺門 英真	邦茂
後台	松本 理奈	潤
菅谷	千田 英玲奈	泰裕

おくやみ

住所	氏名	年齢
戸	小田部 三郎	82歳
額田北郷	富岡 茂	84歳
下江戸	秋山 勇一	94歳
下大賀	栗林 之夫	88歳
後台	野上 ふく	70歳
堤	小沼 なみ	81歳
戸	宇留野 ふみ	98歳
瓜連	高田 義雄	63歳
中里	寺門 一夫	88歳
飯田	川崎 清	73歳
横堀	田所 耕一	76歳
菅谷	辻本 嶺生	75歳
門部	和地 いく	81歳
平野	内田 茂	59歳
門部	竹内 つる	80歳
額田南郷	坂本 ます	103歳
額田北郷	富岡 うめ	94歳
西木倉	植田 くみ	92歳
東木倉	江幡 ふみ子	80歳
平野	吉村 きみ子	82歳

額田北郷	鈴木 實	89歳
後台	山田 光雄	88歳
中台	中島 みつ	87歳
戸	小泉 なみ	92歳
菅谷	小松 きく	93歳
菅谷	稲田 きみ	78歳
古徳	井坂 ふみ	83歳
瓜連	後藤 加代	74歳
額田南郷	水柿 かつ	88歳
下江戸	小貫 きみ子	88歳
豊嶮	柴田 三千代	77歳
戸	諸澤 新一	68歳
瓜連	大内 正	97歳
瓜連	小林 彦郎	76歳
瓜連	青柳 茂	58歳
平野	中根 栄子	82歳
杉	横山 範子	50歳
額田北郷	石井 博子	64歳
南酒出	豊島 光夫	77歳
門部	大内 糸	82歳
本米崎	萩野谷 雅佳	86歳
額田北郷	勝村 市郎	83歳
後台	井上 進	84歳
後台	宮田 富美	83歳
額田東郷	屋代 四郎	78歳
菅谷	竹林 春義	92歳
中台	齊藤 ときの	87歳
菅谷	瀬谷 峯男	69歳
菅谷	武藤 明	67歳
瓜連	井坂 忠作	85歳
飯田	玉川 清子	75歳
瓜連	篠田 登美	87歳
向山	小澤 邁	77歳
飯田	小林 稔	83歳
菅谷	鈴木 八重子	92歳
飯田	田中 幸作	65歳
菅谷	大久保 ぐし	100歳
杉	坏 みつ子	90歳
菅谷	森田 幸子	74歳
飯田	関 銀一	88歳

菅谷	橋本 葉子	91歳
後台	峯島 なつ	88歳
門部	海野 保司	82歳
額田南郷	中澤 榮	95歳
菅谷	平塚 好夫	96歳
中里	橋本 よし	101歳
下江戸	飛田 のぶ	98歳
額田北郷	村上 文江	91歳
菅谷	小澤 静	78歳
菅谷	川又 政一	92歳
大内	根本 澄子	69歳
額田南郷	戸崎 とく	71歳
菅谷	小田原 誠	96歳
後台	照沼 京子	76歳
北酒出	鈴木 重雄	86歳
菅谷	秋葉 勝一	95歳
菅谷	加藤 義雄	74歳
静	柏 俊一	69歳
堤	澤畑 節子	88歳
菅谷	石田 紀一	71歳
門部	小野寺 貞	94歳
菅谷	平野 ふじ江	91歳
本米崎	佐川 三喜男	92歳
額田北郷	中川 達夫	76歳
後台	武田 とも子	63歳
中里	木内 一	84歳
菅谷	岩間 辰雄	84歳
菅谷	宮田 左伊治	93歳
瓜連	櫻井 博充	65歳
横堀	植木 芳枝	86歳
菅谷	橋本 三男	86歳
菅谷	横須賀 すみ江	88歳
戸崎	安 とく	96歳
瓜連	和田 ふぢ江	97歳

※このコーナーは、市民の皆様から届出があったもののうち、掲載を希望されたかたのみ掲載しています



【俳句】瓜連かつらぎ俳句会

ニン月や笑いこらえる裸山
試験の子願いはひとつ神の鈴
山の威に抱かれて居て残る雪
語り継ぐ友に冬日の影早し
川魚屋の水音絶えず蜆桶
バスツアー歓声あがる富士の雪
卒業の背筋正して証書授く
早春の胸押し立てて宮の鳩
雨情の里渚に漁る寒鴉
久に見る白鷺の群れ冬田面
雪凍る枯れ木に重き闇をつめ
古里は赤城嵐とグライダー
子を思い丹精こめしつるしびな

秋野三峰 木内晴絵 鈴木三風 萩野ヨシ子 堀口泉流 堀口静風 真崎一三 眞崎一三 井坂光流 井坂光流 飯島カチ子 飯島カチ子 長谷川和希子 長谷川和希子 栗原富久 栗原富久

【短歌】那珂短歌会 片岡明選

寂しさの募りくる夜を人肌の爛に縋りて夢をみんとす
新年用の靴買いし友に「夕暮れはおろしちやだめ」と吾の老婆心
尼寺の庵の隅の福寿草寒の夕日に輝きており
幼くて逝きし子偲ぶ電飾のツリ灯れる静かな光に
仏の座のみ見つからず庭の草摘みて花咲く季節を待ちおり
駈けぬけて今に思えば古希まぢか色褪せし夢追いかけており
寝転べば鼓動の強くひびきいて生きる証を知らしめくるる
通学の列車なりたるSLが蒸気吐きつつ奥久慈にゆく
畑辻にたちいる馬頭観音の赤き造花が時を断ちおり
冬ざれの庭にあされる雉鳩よ汝もつつがなく新年祝ぐや
福島の田の実り穂と見えたるが一面こがねの泡立草とは
陰翳に富める穂芒の冬の野に招けばやさしき月光となり来ぬ

加藤悦子 梅沢満子 小宅進子 大森満子 大森恵美子 川上恵美子 大森恵美子 大森恵美子 武田八重子 武田八重子 山田八重子 山田八重子 桐原勝子 桐原勝子 小坂富貴子 小坂富貴子 秋葉静枝 秋葉静枝

災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました

12月27日、市内で老人ホーム等を開設している6法人と災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました。この協定は市内に大規模な地震、風水害等が発生した場合、市の要請に応じて災害時要援護者等のために、福祉避難所を設置することについて定めたものです。



協定を締結した法人は次のとおりです。

- 社会福祉法人ナザレ園
- 社会福祉法人豊潤会
- 社会福祉法人新世会
- 社会福祉法人青燈会
- 医療法人社団青燈会
- 社会福祉法人実誠会

青木芳昭さんが新たに「那珂ふるさと大使」に任命されました



青木 芳昭 さん
(京都府在住)
画家
京都造形芸術大学教授

画家の青木芳昭さんが新たに那珂ふるさと大使に任命され、1月17日に任命式が行われました。

青木さんは現在、京都の大学で週3回、膠や墨などの日本画材の研究・指導に尽力されているほか、飯田のギャラリー「アカデミア・プラトニカ」を主宰され、若手芸術家の幅広い作品を展示するなど、新たな時代の芸術文化の発信に努められています。



賀詞交歓会に出席された那珂ふるさと大使の皆さん（市長、副市長、教育長を囲んで）

那珂ふるさと大使一覧（敬称略・50音順）

氏名	住所	職業・役職等
青木 芳昭	京都府	画家、京都造形芸術大学教授
大和田 泰夫	宮城県	(株)ユアテック相談役
加藤 純二	宮城県	宮千代加藤内科医院院長
黒田 ケイ子	東京都	洋画家
小西 哲之	京都府	京都大学教授
坂本 好伸	東京都	(株)宍戸国際ゴルフ倶楽部 代表取締役社長
高倉 翔	千葉県	(財)日本高等教育評価機構副理事長 前 明海大学学長
長須 与佳	東京都	音楽家
根本 直	つくば市	(独)産業技術総合研究所 主任研究員
根本 洋一	東京都	横浜国立大学大学院教授
初瀬 龍平	大阪府	京都女子大学教授
まつい えつこ	東京都	音楽家
宮下 敏子	東京都	アナウンサー、音楽家
横須賀 鎮夫	神奈川県	加賀電子(株)顧問、那珂市立図書館名誉館長



勝山 南美さん(21歳) 菅谷

さわやかさん 95

笑顔を絶やさない保母になります

私は保母になるのが夢でした。私は末っ子だったので、小さいころはいつも兄と姉に可愛がってもらいました。いつか兄や姉が自分にしてくれたことを他の人にしてあげたいとずっと思い続けていました。大きくなって実際に小さな子たちと接し、その笑顔を見たら自分を楽しい気分にしてくれました。それが、保母になりたいと思っただけです。

今は茨城キリスト教大学児童教育学科の4年生で、もうすぐ卒業となります。大学では、子どもの年齢にあった成長の仕方を学んだり現場実習などを受けました。初めて保育園に実習に行ったときは業務日誌の作成など大変苦労しましたが、いつも笑顔を忘れないように心掛けました。

4月からはひたちなか市の保育園で保母として働きます。保育園では笑顔を絶やさず、子どもの健やかな成長を見守りたいと思います。

HAPPY BIRTHDAY!!



はじめてのたんじょうび

ご家族からのメッセージ



元気に育ってね!



じゅんぺい
野口順平くん
父・雅則さん 母・亜紀さん(菅谷)
12/13 生まれ

男らしく頑張って元気に!!



しゅうま
平渡柁真くん
父・誠之さん 母・正美さん(竹ノ内)
12/13 生まれ

ふうらしく育ってね!



ふうあ
鈴木楓亜ちゃん
父・教正さん 母・舞子さん(菅谷)
12/30 生まれ

表紙の裏側

晴天で迎えた那珂市成人式の写真です。今年から那珂総合公園へ会場を移し行われました。成人式実行委員により企画・運営された成人式は、生涯の思い出となる式典となりました。出席者は20歳の責任を自覚するとともに、先を見据える目は当日の空のように澄みきっていました。(1月12日)

ヘルスメイトさんが作る健康料理



栄養満点お好み焼き

※レシピは17ページに記載